

## 介護保険の基本報酬(2024年4月1日以降)

### ①地域単価

地域	横浜市(2級地)
地域単価	10.72円

### ②基本料金(日額)

7h以上8h未満

	単位数	自己負担(1割)	自己負担(2割)	自己負担(3割)	備考
要介護1	658	706 円	1,411 円	2,116 円	
要介護2	777	833 円	1,666 円	2,499 円	
要介護3	900	965 円	1,930 円	2,895 円	
要介護4	1,023	1,097 円	2,194 円	3,290 円	
要介護5	1,148	1,231 円	2,462 円	3,692 円	

6h以上7h未満

	単位数	自己負担(1割)	自己負担(2割)	自己負担(3割)	備考
要介護1	584	626 円	1,252 円	1,878 円	
要介護2	689	739 円	1,478 円	2,216 円	
要介護3	796	854 円	1,707 円	2,560 円	
要介護4	901	966 円	1,932 円	2,898 円	
要介護5	1,008	1,081 円	2,161 円	3,242 円	

5h以上6h未満

	単位数	自己負担(1割)	自己負担(2割)	自己負担(3割)	備考
要介護1	570	611 円	1,222 円	1,833 円	
要介護2	673	722 円	1,443 円	2,165 円	
要介護3	777	833 円	1,666 円	2,499 円	
要介護4	880	944 円	1,887 円	2,830 円	
要介護5	984	1,055 円	2,110 円	3,165 円	

4h以上5h未満

	単位数	自己負担(1割)	自己負担(2割)	自己負担(3割)	備考
要介護1	388	416 円	832 円	1,248 円	
要介護2	444	476 円	952 円	1,428 円	
要介護3	502	539 円	1,077 円	1,615 円	
要介護4	560	601 円	1,201 円	1,801 円	
要介護5	617	662 円	1,323 円	1,985 円	

3h以上4h未満

	単位数	自己負担(1割)	自己負担(2割)	自己負担(3割)	備考
要介護1	370	397 円	794 円	1,190 円	
要介護2	423	454 円	907 円	1,361 円	
要介護3	479	514 円	1,027 円	1,541 円	
要介護4	533	572 円	1,143 円	1,714 円	
要介護5	588	631 円	1,261 円	1,891 円	

2h以上3h未満

心身の状況その他利用者のやむを得ない事情により、長時間のサービス利用が困難である利用者に、2h以上3h未満のサービス提供を行った場合は、4h以上5h未満の単位数×70%の単位数を算定します。

※ 上記料金は、厚生労働省の報酬告示(2024年4月施行)に基づき定められた料金です。改正になった場合には当該改正に従い変更させていただきます。

※ 料金の計算過程における端数処理により、実際の請求額が上記金額と若干異なる場合があります。

【自己負担額算出方法】

地域単価×単位数＝①円(利用料金(10割)。1円未満切捨て。)

①×保険給付(9割、8割又は7割)＝②円(1円未満切捨て。)

①－②＝③円(③が各々の負担割合に応じた自己負担額)

(以下余白)

## 介護保険の加算報酬(2024年6月1日以降)

### ①地域単価

地域	横浜市(2級地)
地域単価	10.72円

### ②各種加算

加算の名称	単位数	自己負担			備考
		(1割)	(2割)	(3割)	
入浴介助加算(I)	40	43 円	86 円	129 円	
入浴介助加算(II)	55	59 円	118 円	177 円	
個別機能訓練加算(I)イ	56	60 円	120 円	180 円	
個別機能訓練加算(I)ロ	76	82 円	163 円	245 円	
若年性認知症利用者受入加算	60	65 円	129 円	193 円	
口腔機能向上加算(II)	160	172 円	343 円	515 円	月2回まで
科学的介護推進体制加算	40	43 円	86 円	129 円	1月単位
同一建物減算	-94	-101 円	-202 円	-303 円	
送迎減算	-47	-51 円	-101 円	-151 円	
サービス提供体制強化加算(I)	22	24 円	47 円	71 円	
介護職員等処遇改善加算(I)	1か月に利用したサービスの総単位数に対して加算(9.2%)				

※ 上記料金は、厚生労働省の報酬告示(2024年6月施行)に基づき定められた料金です。改正になった場合には当該改正に従い変更させていただきます。

※ 料金の計算過程における端数処理により、実際の請求額が上記金額と若干異なる場合があります。

#### 【自己負担額算出方法】

地域単価×単位数＝①円(利用料金(10割)。1円未満切捨て。)

①×保険給付(9割、8割又は7割)＝②円(1円未満切捨て。)

①－②＝③円(③が各々の負担割合に応じた自己負担額)

(以下余白)

## 介護保険の各種加算の説明(2024年6月1日以降)

加算の名称	加算の説明
入浴介助加算(I)	次のいずれも満たす場合に算定する加算です。 ○入浴介助を行った場合 ○入浴介助に関する研修を行った場合
入浴介助加算(II)	入浴介助加算(I)に加えて、機能訓練指導員等が共同して、利用者の居宅を訪問し浴室における利用者の動作及び浴室の環境を評価した医師等との連携の下で、個別の入浴計画を作成し、当該計画に基づき入浴介助を行った場合
個別機能訓練加算(I)イ	専従の機能訓練指導員として従事する理学療法士等を1名以上配置したうえで、機能訓練指導員等が作成した個別機能訓練計画に基づいて理学療法士等が機能訓練を適切に提供していること。当該計画は3か月に1回以上、利用者の居宅に訪問し必要に応じて見直しを行う。
個別機能訓練加算(I)ロ	個別機能訓練加算(I)イの理学療法士等の配置に加え、理学療法士等を配置し、機能訓練指導員等が作成した個別機能訓練計画に基づいて理学療法士等が機能訓練を適切に提供していること。当該計画は3か月に1回以上、利用者の居宅に訪問し必要に応じて見直しを行う。
若年性認知症利用者受入加算	65歳の誕生日の前々日までの利用者に対し、個別の担当者を定めて、その者を中心にサービス提供を行った場合。
口腔機能向上加算(II)	看護職員等を1名以上配置して、利用者ごとの口腔機能改善管理計画を作成し、当該計画に従い看護職員等が口腔機能向上サービスを行った上で、LIFEに情報提出し活用した場合(2回/月まで)
科学的介護推進体制加算	利用者ごとに利用者の心身の状況に係る基本的な情報を、利用開始月若しくは利用終了月又は少なくとも3月に1回以上、LIFEに情報提出し活用した場合(1月当たり)
同一建物減算	事業所と同一建物に居住する者、又は事業所と同一建物から通う者に対し介護を行った場合(傷病その他やむを得ない事情により送迎が必要であった場合を除く。)
送迎減算	事業所の送迎を利用しない場合(片道)
サービス提供体制強化加算(I)	事業所において、前年度における、介護福祉士の占める割合が70%以上、又は勤続10年以上の介護福祉士の占める割合が25%以上である場合。
介護職員等処遇改善加算(I)	介護福祉士の配置等要件、職場環境の改善、賃金体系等の整備、研修の実施、資格や勤務年数等に応じた昇給の仕組みの整備、職場環境のさらなる改善及び見える化等を通じて介護職員の基本的な待遇改善・ベースアップ等のための加算

## 保険の対象とはならない費用一覧(2022年10月1日以降)

名称	内容	備考
食費	650円(おやつ代150円)	
キャンセル料	利用日前日までに右記の連絡先に連絡がない場合、1、2単位目利用者は650円(食事代)、3単位目利用者は150円(おやつ代)を徴収します。	045-633-1315
おむつ代	パット100円、リハパン150円	

(以下余白)